モーリス・ユトリロ展
―モンマルトルの詩情―

4月28日㈯～7月8日㈰

《ラパン・アジル》1912年頃　46.5×61cm　油彩・キャンバス

《パリのサン＝セヴラン教会》1910年頃　61×46.5cm　油彩・厚紙

©Jean Fabris 2007
©ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 2007

㈶三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー主催。
◆会場　三鷹市美術ギャラリー
◆休館日　月曜日(4月30日は開館)・5月1日㈫
◆観覧時間　午前10時～午後8時(入館は7時30分まで)
◆観覧料　一般800円・学生(高・大)500円
※65歳以上、中学生以下と障害者手帳をお持ちの方は無料

ボランティアガイド募集！

モーリス・ユトリロ展で、来館者（主に小学生）に1回30分程度の対話型ギャラリートークを行う無償ボランティアガイドを募集します。

作品に関する知識を説明する解説型ガイドではありませんので、未経験の方もお気軽にご応募ください。

▶4月25日㈬（必着）までに、履歴書を「〒181－0013下連雀3－35－1三鷹市美術ギャラリー」へ郵送または持参する。

※事前に同ギャラリー学芸員と講師による研修（5月2日㈬午前10時～午後3時）がありますので、必ず参加してください。

モーリス・ユトリロは１８８３年パリに生まれました。１３歳の時、母の結婚を機に田舎で祖母と暮らす寂しさから若くしてアルコール中毒となります。病院への入退院を繰り返す中で、医師の勧めで絵を描き始めたのが画家となる契機となりました。
本展では「白の時代」を中心に、後期の作品まで含めてその全貌をご紹介いたします。

三鷹市美術ギャラリー
JR三鷹駅(南口前)CORAL5階☎79-0033
HP http://mitaka.jpn.org/gallery/

※この記事を切り抜いて展覧会にお持ちください。１回に限り２人まで一般入場料８００円を６４０円に割り引きます。

みたか子ども読書フェア
4月20日㈮～5月10日㈭
～あけてみようよ　本のとびら～

４月２３日㈪は「子ども読書の日」。図書館では、この日を中心に、図書の展示をはじめ本と触れ合うイベントを開催します。
くわしくは、各図書館へ。

三鷹図書館(本館)☎４３－９１５１
下連雀図書館☎４３－９１５９
東部図書館☎４９－３８５１
西部図書館☎３３－１３１１
三鷹駅前図書館☎７１－００３５

本はともだち
「みたか子ども読書フェア」

この春も、楽しい行事がいっぱい。今回は、読書フェア期間中の各図書館のテーマ図書などを紹介します。

図書館本館
「銀のほのおの国」
作：神沢利子　画：堀内誠一／福音館書店
トナカイと青イヌの戦う、壁の向こうの国を旅する兄妹の運命は…。市内在住の児童文学作家・神沢利子さんの壮大なファンタジー。

下連雀図書館
「わんわん探偵団」
作：杉山亮　画：廣川沙映子／偕成社
犬の訓練士・スピッツかわいが、賢い犬たちと難事件に挑むシリーズ第１作目。「事件編」と「解決編」に分かれていて、読みながら一緒に謎解きを楽しめます。

東部図書館
「ペネロペ　ひとりでふくをきる」
文：アン・グットマン　絵：ゲオルグ・ハレンスレーベン　訳：ひがしかずこ／岩崎書店
ペネロペは元気でかわいいコアラの女の子。今日は自分一人で服を着て、幼稚園に行くと決めたようです。さて、上手にできるかな？

西部図書館
「チップとチョコのおつかい」
文・絵：どい かや／文溪堂
チップとチョコは、小犬の兄妹。おかあさんにおつかいを頼まれて、二人で「いってきまーす」。ところが、ひとつ売り切れのものがあって…。

⇨三鷹図書館（本館）☎４３－９１５１

発団30周年
三鷹消防少年団が総務省消防庁長官表彰を受賞

特に優良な少年消防クラブとして、三鷹消防少年団が3月26日、平成18年度総務省消防庁長官表彰を受賞し、表彰旗が授与されました。

この受賞は、防火・防災に関する知識や技術を身に付け、規律正しい団体生活を通して、社会礼節・道徳を養い、防火・防災思想の普及と社会奉仕をしたことが高く評価されたものです。

現在、三鷹消防少年団は団長の岡田源治さんと、市内在住の小学3年生から中学3年生までの少年少女40人によって構成され、地域美化運動や福祉施設の訪問などの活動をしています。

⇨防災課☎内線2283

人口と世帯
（平成１９年４月１日）
●住民基本台帳
84,906世帯
172,940人
(男:85,517人・女:87,423人)
●外国人登録
2,980人

三鷹市広報番組　みる・みる・三鷹
武蔵野三鷹ケーブルテレビ５ch
1日4回放送
8:30/12:30/19:30/21:30
●第260回（4月15日～5月5日）みたか都市観光協会発足／山本有三展 昭和の文化観

三鷹市市政情報番組
おはよう！三鷹市です
FMむさしの78.2MHz
月～金曜日10:20～25放送

広報みたかは三鷹市シルバー人材センター会員がお届けしています。
⇨シルバー人材センター☎48－6721

チケットインフォメーション

三鷹市芸術文化振興財団(芸術文化センター内)
☎47－5122　http://mitaka.jpn.org

★印の公演には託児サービスがあります。
※料金500円、要予約。対象：1歳～未就学児、定員10人。

チケットのお求め方法
発売初日は10：00から電話とインターネットで受け付けます。窓口販売は翌日からとなります。
●電話予約
芸術文化センター☎47－5122
●インターネット販売（事前登録要）
パソコンHP http://mitaka.jpn.org
携帯電話HP http://mitaka-art.jp/ticket-m/
●窓口販売
芸術文化センター／三鷹市美術ギャラリー／三鷹市公会堂
※学生券をお求めの方は当日学生証を拝見します。
●販売時間・休館日
10：00～19：00　月曜日休館

芸術文化センター星のホール
若い夫のすてきな微笑み
4月25日㈬～30日㈭
計8回公演
全席指定
前売　会員=2,700円
一般=3,000円

当日　会員=3,000円　一般=3,300円
高校生以下=1,000円（前売・当日とも）
出演者：深浦加奈子、大沢健、初音映莉子ほか
TBCの「ナオミよぉ」など数々のヒット作を世に送り出しているCMディレクター、山内健司の演劇公演第4弾！大人の恋を生き生きとした台詞で描きます！

『若い夫のすてきな微笑み』

	4月25日㈬	26日㈭	27日㈮	28日㈯	29日㈰	30日㈭
15:00				●	●	●
19:30	●	●	●	●	●	

★第8回 太宰を聴く～太宰治朗読会～
6月8日㈮19：00開演
チケット発売日
会員=4月18日㈬　一般=4月25日㈬
全席指定
会員=1,350円
一般=1,500円
学生=1,000円
出演：風間杜夫
朗読作品（予定）：「弱者の糧」「酒の追憶」「朝」「桜桃」

風間杜夫

太宰治は昭和14年から23年にこの世を去るまで三鷹に居を構えていました。太宰の眠る禅林寺では毎年6月19日の桜桃忌に多くの太宰ファンが訪れます。その季節に太宰を偲ぶ朗読会を開催します。
今回はテレビに舞台に幅広く活躍中の風間杜夫さんの登場です！毎年、チケットは発売開始後にすぐに完売となっていますのでお申し込みはお早めにどうぞ。

芸術文化センター風のホール
★モーツァルトプレーヤーズの「新世界」
～新境地を拓くTMPの挑戦～
7月7日㈯18：30開演
チケット発売日
会員=発売中　一般=4月17日㈫
全席指定
会員=3,000円　一般=3,500円
学生=1,800円
出演／沼尻竜典（指揮）、トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ（管弦楽）
曲目／バーバー：弦楽のためのアダージョ
ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界より」ほか
TMPはゴールデンウィークの東京丸の内の一大イベント「熱狂の日音楽祭」に出演します。今年のテーマは「民族のハーモニー」。7月公演ではそのメイン作曲家の一人ドヴォルザークの代表作、「新世界」に初めて挑みます。ぜひご期待ください！